

# 黄桜の宿オープン

5月9日

## 交流人口増やし経済活性化に貢献 無料宿泊体験実施!



「農家民宿・黄桜の宿」が5月9日からオープンします。宿泊施設の少ない東由利地域に、泊まる場所を増やすことで経済や地域の活性化につなげていきたいとして開設を進めてきたもので、建物の所有者が農家民宿として宿泊営業許可を取得し、「NPO法人黄桜の宿」が運営を受託します。このため同法人では、都市住民を対象にした農業や林業体験、そば打ちや餅つき体験など様々なグリーン・ツーリズムの体験メニューを準備し、

# 会報 NPO法人 黄桜の宿

2015.5.1  
第 3 号  
特定非営利活動  
法人・黄桜の宿  
◆発行責任者◆  
事務局  
小野 長 清  
090-4886-9721

交流人口の増加に取り組んでいくことにしています。  
受付は「弁天の宿」

「農家民宿・黄桜の宿」は、旅館業法の正式な許可がおりるまでは「宿泊体験事業」として運営し、宿泊料を無料にします。また、宿泊者には黄桜温泉やおなどでの食事を条件に「湯楽里」の入浴券を差し上げます。宿泊の受付は、営業コストや効率面から「農家民宿・弁天の宿」で行います。無料体験は5月末で終了し、以後は「弁天の宿」が満室の場合に「黄桜の宿」を営業するなど、両者が連携を取り合いながら営業していきます。

宿泊予約申込み先  
農家民宿・弁天の宿

〈電話〉  
0184-69-3039

〈ファクス〉  
018-803-5194  
(efax)

### 土地改良区事務所から 応接セットなど頂戴

合併で閉所した本荘東由利土地改良区(石沢地区)事務所から、不要となった応接セット、掃除機、電気ポットを「農家民宿・黄桜の宿」に無償で譲っていただきました。(写真)いずれも必需品であり、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



### 黄桜の宿の経営にご協力を!

「黄桜の宿」の経営は、できる限りコストをかけたないように行います。しかし、今年度に限っては浴室ボイラーの修繕、許可基準に沿うためにトイレの改修、寝具の購入などに多額の費用がかかりました。今後は光熱水費、リネン費、清掃等管理費が必要で、市補助金

力をお願いいたします。賛助会員の会費は入金金とあわせ3000円、寄付金は1口2000円としております。賛助会員には会報の送付やイベントの案内のほか、宿泊料金や黄桜温泉入浴料の割引などを検討中です。振込先は次の通りです。

と宿泊料収入だけではどうも足りないことが見込まれます。不足分には会員の会費や寄付金などを充てなければなりません。現在は現在正会員12人、賛助会員4人といった状況です。つきましては、賛助会員の募集とあわせ寄付金を募ることにしましたのでご協

郵便局で「払込取扱表」  
によりお振り込み下さい

- 口座記号 02280-3
- 口座番号 138425
- 口座加入者名  
特定非営利活動法人黄桜の宿

※ご依頼欄にお名前、ご住所、  
電話番号を記載してください。



# 宮塚利雄氏講演会50人が聴講

NPO法人黄桜の宿が3月20日、新町出身で山梨学院大学教授の宮塚利雄氏を招き、有鄰館（老方台山）で講演会を開催しました。



新町出身で山梨学院大学の宮塚利雄氏が北朝鮮の最新情報などについて有鄰館で講演

# 森に親しむ会開催

「山遊庭の森」(法内野田)で5月8日(金)、第9回ふれあい交流会～森に親しむ会～が開催されます。東由利地域の保育園児と小学生、グループホーム利用者らが、キノコのコマ打ちなどを体験します。当日は一般の方も参加できますので、希望者は下記にご連絡願います。

【阿部重助さん 69-3986】



写真は昨年5月9日に実施されたふれあい交流会～森に親しむ会

# 150人が雪中キャベツ収穫体験

3月15日に東由利グリーン・ツーリズム研究会が「雪中キャベツ収穫体験」を開催、市内外から150人が参加しました。参加費は千円で10kgのキャベツを持ち帰られるほか、フランス鴨汁と黄桜温泉の入浴券がサービスされ、参加者は大満足した表情で会場を後にしていました。



150人が参加した雪中キャベツ収穫体験

演題は「隣国を理解する」朝鮮半島の二つの国と日本」で、宮塚氏は現地に向いて自らが撮影した写真を紹介しながら、北朝鮮の

現状と日本との関わりなどについてわかりやすく説明、会場に集まった50人が興味深く聞き入りました。講演会終了後、黄桜温泉湯楽里で宮塚氏を囲んだ懇親会を開催、15人が参加し情報を交換し合いました。

# 中山間集落協定事務黄桜の宿が受託予定

NPO法人黄桜の宿は、4月21日に総会を開き、平成27年度において農家民宿の営業のほか、前年度に引き続き市の委託事業である「工芸品製作人材育成事業」と、新しく市関連の委託事

ピザ窯を持つている市内団体が「ゆりほん石窯ピザ愛好会」(茂木精会長)を結成、東由利アグリ研究会(館合新田)もメンバーに加わりました。同愛好会では市の補助金を活用し移動式のピザ窯を新しく製作中で、市内の様々なイベントで地域の食材を使った石窯ピザを販売し地域活性化に貢献することとしています。

# 黄桜まつりで石窯ピザ販売!

黄桜まつり(5月2日～24日)で自前の移動式ピザ窯を会場に持ち込み、焼きたての石窯ピザを安価で提供することとしているほか、5月30日と31日に由利高原で開催される「鳥海高原菜の花まつり」にも出店することとしています。



昨年、国文祭のフットパスで東由利アグリ研究会が参加者に石窯ピザを提供

業として「中山間集落協定事務委託事業」を受託する予定であることを会員に報告し了承を得ました。

「中山間集落協定事務委託事業」は、各農業集落協定に交付される農業交付金の申請や実績報告書の作成事務を行うもので、現段階では3～4協定の委託が見込まれています。

今後受託規模が増えれば、新たな人材の雇用に繋がることから、事務を委託する集落協定が増えることに期待が寄せられます。

工芸品製作人材育成事業は旧八塩小学校校舎に「伝統工芸品体験工房やしお」を開設し、ワラ細工の製作体験・商品開発などを、7月末まで実施します。